

第3回いわき景気ウォッチャー調査

平成14年8月調査結果(平成14年9月27日発表)

東日本国際大学 地域経済研究所

調査結果概要

今回調査(平成14年8月)によれば、一部景気底入れの動きが見られた前回調査(同年5月)から一転し、現状判断及び先行き判断ともに反転し、わずかながら後退局面を見せている。

現状判断DIは、全業種で31.9と前回調査(平成14年5月)に比べ2.4%減少し、“景気回復への道を歩んでいることが伺われる”とした前回調査から転じ、わずかではあるが後退局面に転じたことを示している。業種別には、家計動向関連は33.2(前回調査時に比べ0.4ポイント増加)はほぼ横這いとなっているが景気のかかれ目である50%に程遠いレベルにある。顕著なのは企業動向関連が24.0(同14.5)と大幅に減少していることと、逆に雇用関連が75.0(同37.5)が大幅に改善していることである。

一方、先行き判断DIは、全業種で43.6と前回調査に対して3.0%と先行き(2から3か月)わずかながらの悪化傾向を示しており、“底打ちに近づきつつある”とした前回調査から逆戻りの傾向となっている。業種別DIでは、家計動向関連が42.8と前回に比べ3.1ポイントの減少、企業動向関連は前回調査と同じ50.0とともに思わしくない状況にあるが、雇用動向関連では50.0と同12.5ポイントの増加を示している。

調査結果

1. 現況判断

現状判断DIは、全業種で31.9と前回調査(平成14年5月)に比べ2.4%減少し、“景気回復への道を歩んでいることが伺われる”とした前回調査から転じ、わずかではあるが後退局面に転じたことを示している。

業種別DIでは、家計動向関連は33.2(前回調査時に比べ0.4ポイント増加)はほぼ横這いとなっているが景気のかかれ目である50%に程遠いレベルにある。顕著なのは企業動向関連が24.0(同14.5)と大幅に減少していることと、逆に雇用関連が75.0(同37.5)が大幅に改善していることである。

なお家計動向関連の内訳では飲食関連40.0(同9.6ポイント増加)とサービス関連36.6(同7.4)が増加しているが、小売関連28.3(同7.7)と住宅関連31.3(同6.2)は減少している。

業種別構成比でみると、**全業種**で“やや悪くなっている”29.4%と“悪くなっている”26.5%と合わせ55.9%と過半が悪化状況にある。これは“やや悪くなっている”と“悪くなっている”が減少傾向を示していた前回調査と逆の動きとなっている。

業種別には、**家計動向関連**は“やや悪くなっている”28.9%と“悪くなっている”23.7%と合わせ52.6%と過半が悪化状況あるのは前回調査と余り変わりが無い。これに対して**企業動向**は、“やや悪くなっている”33.3%と“悪くなっている”37.5%と合わせ70.8%が悪化しているとしており、“家計動向関連よりやや大きい底入れの動きがみられるとした”として前回調査と様変わりの様相を示している。反面、**雇用動向関連**は“ややよくなっている”が100.0%とこれを見る限り雇用状況の好転が伺われる。

2. 先行き判断

先行き判断 DIは、**全業種**で43.6と前回調査に対して3.0%と先行き(2から3か月)わずかながらの悪化傾向を示しており、“底打ちに近づきつつある”とした前回調査から逆戻りの傾向となっている。

業種別 DIでは、**家計動向関連**が42.8と前回に比べ3.1ポイントの減少、**企業動向関連**は前回調査と同じ50.0とともに思わしくない状況にあるが、**雇用動向関連**では50.0と同12.5ポイントの増加を示している。

家計動向部門の内訳では**飲食関連**45.0(同5.7ポイント増加)だけが若干の増進傾向を示しているが、**サービス関連**44.6(同2.1)と**小売関連**41.7(同5.4)は若干減少、**住宅関連**は37.5(同12.5)は激減している。

業種別構成比では、**全業種**で“やや悪くなっている”11.8%と“悪くなっている”9.8%と合わせて21.6%が悪化とみており前回調査時の24.1%と大差ない。ただし“変わらない”が68.6%と前回の58.6%に対して激増しているが、これは“やや良くなる”から“変わらない”に見方を変えたためで“やや良くなる”が前回調査より11.3%減少している。

業種別には、**家計動向関連**でも**全業種**と同じ動きとなっており、“変わらない”が73.7%と前回の62.8%に対して10.9%増加している。**企業動向関連**では“やや良くなる”が9.1%と前回調査と比べ21.7%減少し、逆に“やや悪くなる”が27.3%と前回調査に比べ11.9%増加するなど悪化傾向を示している。なお現状判断で雇用状況の好転を示している**雇用関連**では“変わらない”が100.0%と現状維持としている。

・景気判断主要理由

(別添)

表A 現状判断

・景気の現状判断DI（推移）

DI	02年2月	02年5月	(前回差)	02年8月	(前回差)
合計	14.4	34.3	19.9	31.9	-2.4
家計動向関連	15.1	32.8	17.7	33.2	0.4
小売関連	11.3	36.0	24.7	28.3	-7.7
飲食関連	10.0	30.4	20.4	40.0	9.6
サービス関連	22.9	29.2	6.3	36.6	7.4
住宅関連	0.0	37.5	37.5	31.3	-6.2
企業動向関連	13.8	38.5	24.7	24.0	-14.5
雇用関連	25.0	37.5	12.5	75.0	37.5

・景気の現状判断：業種別構成比（今回分）

区分	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	DI
合計	0.0%	9.8%	34.3%	29.4%	26.5%	31.9
家計動向関連	0.0%	9.2%	38.2%	28.9%	23.7%	33.2
小売関連	0.0%	3.3%	33.3%	36.7%	26.7%	28.3
飲食関連	0.0%	40.0%	10.0%	20.0%	30.0%	40.0
サービス関連	0.0%	7.1%	50.0%	25.0%	17.9%	36.6
住宅関連	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	31.3
企業動向関連	0.0%	4.2%	25.0%	33.3%	37.5%	24.0
雇用関連	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0

・景気の現状判断（構成比推移）

1. 全体

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	2	0.0%	3.3%	8.9%	30.0%	57.8%
	5	1.7%	16.4%	31.0%	19.0%	31.9%
	(前月差)	1.7%	13.1%	22.1%	-11.0%	-25.9%
	8	0.0%	98.0%	34.3%	29.4%	26.5%
	(前月差)	-1.7%	81.6%	3.3%	10.4%	-5.4%

2-1. 家計動向

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
02	2	0.0%	3.4%	8.6%	32.8%	55.2%
	5	2.3%	15.1%	29.1%	18.6%	34.9%
	(前月差)	2.3%	11.7%	20.5%	-14.2%	-20.3%
	8	0.0%	9.2%	38.2%	28.9%	23.7%
	(前月差)	-2.3%	-5.9%	9.1%	10.3%	-11.2%

2-1-1. 小売関連

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	2	0.0%	0.0%	50.0%	35.0%	60.0%
	5	5.9%	20.6%	17.6%	23.5%	32.4%
	(前月差)	5.9%	20.6%	-32.4%	-11.5%	-27.6%
	8	0.0%	3.3%	33.3%	36.7%	26.7%
	(前月差)	-5.9%	-17.3%	15.7%	13.2%	-5.7%

2-1-2. 飲食関連

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	2	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	60.0%
	5	0.0%	21.4%	21.4%	14.3%	42.9%
	(前月差)	0.0%	21.4%	1.4%	-25.7%	-17.1%
	8	0.0%	40.0%	10.0%	20.0%	30.0%
	(前月差)	0.0%	18.6%	-11.4%	5.7%	-12.9%

2-1-3. サービス関連

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	2	0.0%	8.3%	16.7%	33.3%	41.7%
	5	0.0%	6.7%	43.3%	10.0%	40.0%
	(前月差)	0.0%	-1.6%	26.6%	-23.3%	-1.7%
	8	0.0%	7.1%	50.0%	25.0%	17.9%
	(前月差)	0.0%	0.4%	6.7%	15.0%	-22.1%

2-1-4. 住宅関連

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	5	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%
	(前月差)	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	-87.5%
	8	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
	(前月差)	0.0%	-12.5%	12.5%	-12.5%	12.5%

2-2. 企業動向

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	2	0.0%	5.0%	5.0%	30.0%	60.0%
	5	0.0%	23.1%	34.6%	15.4%	26.9%
	(前月差)	0.0%	18.1%	29.6%	-14.6%	-33.1%
	8	0.0%	4.2%	25.0%	33.3%	37.5%
	(前月差)	0.0%	-18.9%	-9.6%	17.9%	10.6%

2-3. 雇用動向

年	月	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
02	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	5	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	-50.0%
	8	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	(前月差)	0.0%	100.0%	-50.0%	-50.0%	0.0%

表B 先行き判断

. 景気の先行き判断DI (推移)

DI	02年2月	02年5月 (前回差)	02年8月 (前回差)
合計	27.8	46.6	18.8
家計動向関連	33.6	45.9	12.3
小売関連	25.0	47.1	22.1
飲食関連	30.0	39.3	9.3
サービス関連	39.6	46.7	7.1
住宅関連	50.0	50.0	0.0
企業動向関連	17.5	50.0	32.5
雇用関連	37.5	37.5	0.0

. 景気の先行き判断：業種別構成比 (今回分)

区分	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
合計	2.0%	5.9%	68.6%	11.8%	9.8%	43.6
家計動向関連	0.0%	5.3%	73.7%	7.9%	13.2%	42.8
小売関連	0.0%	6.7%	66.7%	13.3%	13.3%	41.7
飲食関連	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	45.0
サービス関連	0.0%	0.0%	85.7%	7.1%	7.1%	44.6
住宅関連	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	37.5
企業動向関連	9.1%	9.1%	54.5%	27.3%	0.0%	50.0
雇用関連	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0

. 景気の先行き判断(構成比推移)

1. 全体

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	2.2%	2.2%	35.6%	24.4%	35.6%
	5	0.0%	17.2%	58.6%	17.2%	6.9%
	(前月差)	-2.2%	15.0%	23.0%	-7.2%	-28.7%
	8	2.0%	5.9%	68.6%	11.8%	9.8%
	(前月差)	4.2%	-11.3%	10.0%	-5.4%	2.9%

2-1. 家計動向

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	3.4%	0.0%	48.3%	24.1%	24.1%
	5	0.0%	14.0%	62.8%	16.3%	7.0%
	(前月差)	-3.4%	14.0%	14.5%	-7.8%	-17.1%
	8	0.0%	5.3%	73.7%	7.9%	13.2%
	(前月差)	3.4%	-8.7%	10.9%	-8.4%	6.2%

2-1-1. 小売関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%
	5	0.0%	17.6%	58.8%	17.6%	5.9%
	(前月差)	0.0%	17.6%	18.8%	-2.4%	-34.1%
	8	0.0%	6.7%	66.7%	13.3%	13.3%
	(前月差)	0.0%	-10.9%	7.9%	-4.3%	7.4%

2-1-2. 飲食関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%
	5	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%
	(前月差)	-20.0%	14.3%	22.9%	28.6%	-45.7%
	8	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%
	(前月差)	20.0%	5.7%	17.1%	-28.6%	5.7%

2-1-3. サービス関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	0.0%	0.0%	58.3%	41.7%	0.0%
	5	0.0%	6.7%	80.0%	6.7%	6.7%
	(前月差)	0.0%	6.7%	21.7%	-35.0%	6.7%
	8	0.0%	0.0%	85.7%	7.1%	7.1%
	(前月差)	0.0%	-6.7%	5.7%	0.4%	0.4%

2-1-4. 住宅関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	5	0.0%	25.0%	50.0%	25.5%	0.0%
	(前月差)	0.0%	25.0%	-50.0%	25.5%	0.0%
	8	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
	(前月差)	0.0%	-25.0%	25.0%	-25.5%	25.0%

2-2. 企業動向

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%
	5	0.0%	30.8%	46.2%	15.4%	7.7%
	(前月差)	0.0%	20.8%	36.2%	-4.6%	-52.3%
	8	9.1%	9.1%	54.5%	27.3%	0.0%
	(前月差)	9.1%	-21.7%	8.3%	11.9%	-7.7%

2-3. 雇用動向

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
02	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	5	1.7%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	(前月差)	0.0%	0.0%	50.0%	-50.0%	0.0%

(以上)

1. 全国経済・景気動向

(1) 月例経済報告（平成 14 年 9 月）＜要約＞

- 基調判断：景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、環境は厳しさを増している。
- 分野別判断：
 - 雇用情勢は、一部に改善への動きがみられるものの、失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。
 - 個人消費は、横這いで推移するなかで、一部に底堅さもみられる。
 - 企業収益横這いとなっており、設備投資は下げ止まりの兆しがみられる。
 - 輸出は増加している。生産は持ち直しの動きが緩やかになっている。
- 先行き判断：景気は持ち直しに向かうことが期待されるが、アメリカ経済等への先行き懸念や我が国の株価の下落など、環境は厳しさを培っており、我が国の最終需要が下押しされる懸念が強まりつつある。

(2) 景気ウォッチャー調査(平成 14 年 8 月調査結果)＜要約＞

- 景気の現状判断 DI：
 - 3 か月前と比較しての景気の現状に対する判断 DI は、43.6 となった。企業動向関連は低下したものの、家計動向関連、雇用関連の DI が上昇したことから、前月を 1.2 ポイント上回り、4 か月ぶりの上昇となった。また横ばいを示す 50 を 25 か月連続で下回っている。
- 景気の先行き判断 DI：
 - 2～3 か月先の景気の先行きに対する判断 DI は 46.1 となった。家計動向関連、企業動向関連、雇用関連のすべての DI が上昇したことから、前月を 1.2 ポイント上回り 3 か月ぶりの上昇となった。また横ばいを示す 50 を 23 か月連続で下回っている。

2. 福島県経済・景気調査

(1) 福島県経済動向＜要約＞

- 県内の景気は、生産活動に持ち直しの動きがあるものの、個人消費や雇用情勢が低迷し、引き続き厳しい状況にある。
- 個人消費：
 - 大型小売店販売額（6 月）は総額約 192 億円となり、前年同月比（店舗調整後）で 1.1%減少し、12 年 10 月を除き 9 年 9 月から前年割れが続いている。
 - 自動車新規登録台数(7 月)は 6,6663 台となり、前年同月比で 5.7%減少した。
 - 建設需要：
 - 新設住宅着工戸数(6 月)は総戸数 1,307 戸となり、前年同月比で 2.8%減少し、3 か月連続で前年を下回っている。公共工事請負額(7 月)は総額約 419 億円と

なり、前年同月比で 5.0%減少した。

- 生産活動：
 - 鉱工業生産指数（6月）は 99.3 となり、前年同月比で 3.2%上昇し、3 か月連続で前年を上回っている。
 - 消費財生産指数（6月）は 107.2 となり、前年同月比で 4.1%低下した。
 - 大口電力使用量（6月）は前年同月比で 1.2%の減少となり、前年を下回った。
- 雇用・労働：
 - 新規求人倍率（6月）は 0.84 倍となり、前月比で 0.07 ポイント上昇している。有効休職者数は 0.43 となり前月比で 0.03 ポイント上昇している。
- 企業・金融：
 - 企業倒産は(7月)は、件数は 17 件となり、前年同月比で 43.3%減少している。
- 中小企業の業況：
 - 県内中小企業の業況感を表す DI 値（7月）は 46.2 となり、前月に比べ 5.4 ポイント改善している。

(2) 福島県景気動向指数（平成 14 年 9 月 5 日公表）

- 概括：
 - 6月の景気動向指数(DI)は、先行指数 33.3%、一致指数 87.5%、遅行指数 83.3%となった。
 - 先行指数は、2 か月振りに 50%を下回った。
 - 一致指数は、5 か月速統で 50%を上回った。
 - 遅行指数は、2 か月振りに 50%を上回った。
- 個別系列の動向：
 - 1) 先行系列：新規求人倍率、第 2 地銀・信金・信組貸出残高はマイナスからプラスとなった。また所定外労働時間（製造業）は 3 か月連続のプラスになった。一方、生産指数（投資財）、自動車新規登録台数、在庫率指数（鉱工業）、新設住宅着工面積、中小企業判断 DI、不渡り手形金額はプラスとなった。
 - 2) 一致系列：雇用保険受給者実人員、手形交換金額はマイナスからプラスとなった。有効求人倍率は保合いプラスとなった。また、生産指数（鉱工業）、出荷指数（鉱工業）は 6 か月連続、大口電力使用量は 5 か月連続、大型小売店販売額は 2 か月速統のプラスとなった。一方、建築着工床面積（鉱工業）は 3 か月連続のマイナスとなった。
 - 3) 遅行系列：常用雇用指数（製造業）、実質農家家計現金支出はマイナスからプラスとなった。また、製品在庫指数（鉱工業）は 5 か月連続、消費者物価指数、保証申込額は 3 か月連続のプラスとなった。一方、法人事業税（調定額）は 22 か月連続のマイナスとなった。

(以上)